

教育委員意見交換会

日時 令和5年1月6日(金) 午前10時50分～午後0時00分

場所 堺市役所 本館3階 大会議室1

出席者 栗井明彦教育長、河盛幹雄委員、宮本功委員、新谷奈津子委員、鈴木真由子委員、長田翼委員
(事務局)山嵯久樹教育次長、長山秀基教育監

中山真裕美教委総務部長

竹内新学校教育部長 益本里佳学校保健体育課長 川端一生生徒指導課長

藤本慎也教育センター所長 幸田友美企画相談課長 成澤淳一学校ICT化推進室長

橋本宏司教育政策課長、至田義朋教育政策課長補佐、楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- ・新保護者連絡システムの全校展開について
- ・第2回総合教育会議について

・令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査※の結果概要(速報版)及び今後の対応を説明。

※小学5年生及び中学2年生を対象に、実技テスト(8項目)及び質問紙により行う悉皆調査。

(主な意見)

・勉強ができる子は運動でリラックスするのも上手。運動する時間を確保することは学力向上にも資すると思っ
ているので、様々な知見や具体事例もふまえ、今後の議論の切り口にしてもよいと思う。

・児童生徒の体力向上以外にも、モチベーション向上にも効果があると考えますが、コロナ禍で中止していたような
行事・イベントを再開する予定はあるか。

⇒運動の機会が減ったなかで体力低下は事実であり、今後どのように運動の機会を増やす取組を行うかは考
えていきたい。また、行事やイベントについては、再開を前提に検討しているところである。

・体力向上研究校(5校)のデータがあるなら、いじめの状況や不登校児童生徒数のデータとの関連性などの分
析も可能かと思う。今後、部活動の地域移行を進めるにあたって、堺市としての方向性やコンセプトは非常に
重要となるので、データデザイン・データ分析などをしっかりと進めてほしい。

・新保護者連絡システムの全校展開について

遅刻欠席連絡システム及び保護者への緊急時等の一斉連絡等を、新保護者連絡システム“tetoru”に一本化
し、令和5年4月から全校で運用開始する旨を説明。

(主な意見)

・非常に良い取組だと思う。システム導入準備(アプリのダウンロード等)に関する保護者への依頼を3月に実施
されるとのこと。周知期間が短く、新システムに対応できない保護者は不安に思うだろうが、対策はいかがか。

⇒2月に導入する旨の通知を事前に行ったうえで、システム導入準備の依頼を改めて行う。また、専用ヘルプデ
スクによる24時間受付可能なサポートを実施するので、保護者への対応は可能と考えている。

・第2回総合教育会議について

第2回会議の資料(案)を提示し、「教育委員会にかかる一連の不祥事対応について」「不登校対策について」を説明。

「教育委員会にかかる一連の不祥事対応について」

(主な意見)

・調査書誤記載事案の再発防止についても、既に実施している取組なのか、今後実施する取組なのか明確にした方が意見を述べやすいと思う。

⇒意見をふまえ、資料を修正する。

「不登校対策について」

(主な意見)

・例えば、睡眠教育が不登校対策にとって有効であるというデータ(睡眠教育実施校では不登校児童生徒数が相対的に少ないなど)が得られるのであれば、市全体に広げていくような仕掛けを教育委員会主導で進めていくという観点が必要となる。今後、何が課題で何をすれば効果があるかの全体的な整理が必要であり、市全体での不登校対策を検討するのであれば、資料の表記についても検討してほしい。

⇒今後、不登校対策強化に向けて議論を進めるという大きな方向性がある。資料の修正も含め、引き続き検討したい。